

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるアカシオ サンガイネアが最大0.41細胞/ml確認されました。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.08細胞/ml、最大ギムノディニウム カテナータムが最大0.24細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	溶存酸素 (mg/l)	アカシオ サンガイネア	アレキサンドリウム属	ギムノディニウム カテナータム
藻津① (別図⑨) 採水時間 09:22 透明度 - m	5.0	16.8	34.5	6.8	0	0	0
大島中央① (別図⑤) 採水時間 09:33 透明度 - m	5.0	16.7	34.5	6.5	0.01	0	0.24
小筑紫中央① (別図⑬) 採水時間 09:38 透明度 - m	15.0	16.8	34.6	6.6	0.02	0.08	0
栄喜奥 (別図②) 採水時間 9:58 透明度 - m	5.0	17.2	34.6	6.6	0.41	0	0.18
青瀬山 (別図③) 採水時間 10:06 透明度 - m	0.0	15.9	33.1	6.8	0	0	0
弘浦② (別図①) 採水時間 10:19 透明度 - m	0.0	15.7	33.3	7.6	0.06	0	0